

浦舟だより

令和6（2024）年 1月 9日

第 9 号 （第290号）

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

令和6（2024）年は「たつどし」です

校長 和内 正也

あけましておめでとうございます。令和6（2024）年がスタートいたしました。皆さまにはお変わりないでしょうか。この場をお借りして新年の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年は十二支の「辰」＝「たつどし」となりました。「辰」は「たつ」や「しん」と読みますが、もともとは「振」（しん「ふるう」「ととのう」の意味）からきていて、草木の形が整った状態を表しているそうです。やがて、神話動物の竜（龍）が割り当てられたとのこと。

「竜」は中国では神獣・霊獣であり、漢の初代皇帝の出生伝説をはじめとして、皇帝のシンボルとして扱われました。竜の存在の根拠となっているのは、クジラや恐竜などの大型動物の骨や化石、ワニやオオトカゲなどは虫類、ヘビなどに対する人間の本能的な恐怖などが考えられるとのこと。また、古代中国の川に生き残っていたワニの一種が、寒冷化や人類による狩りにより絶滅した後伝説化したもの、といった説があります。中国では恐竜などの大型動物の化石が「竜の骨」と信じられ、薬の材料として長く使用されていました。

この中国の竜の考えが大昔の日本に伝わり、日本にもともとあった自然を神としてあがめる信仰とまざりあって、日本の竜の見方ができあがったと考えられています。日本各地で水の神として信仰の対象となり、河川のはんらんや干ばつが続くと、昔は竜神に食べ物や生けにえを捧げることがありました。剣は炎の竜の化身とされており、伝説で「やまたのおろち」の体内から見つかったとされる「草薙の剣」は神器として祭られ、守り神とされました。また竜は戦いの神として、戦国の時代には刀剣やかぶとにかたどられました。

なお、西洋の竜であるドラゴンは、ヨーロッパの文化ではよく知られる伝承や神話における生物ですが、地上に降りた天使とされているそうです。トカゲあるいはヘビの姿に似た想像上の動物で、かつては実際にいた生きものとされていました。中国の竜とはだいぶ異なるようで、日本の竜ともどうも感じが違います。ゲームやライトノベルに登場する竜は、言葉を理解し考え方が人間あるいは天使？に近い、西洋のドラゴンが大多数のように見受けられます。

中国の「登竜門」という故事では「鯉が滝を昇って竜になった」という言い伝えがあり、「立身出世」の意味があります。大空に駆けあがっていく竜のことを「昇り竜」といい、とても縁起の良い、めでたいものとされています。現在の暦では「たつどし」は通常うるう年となります（「ねずみどし」「さるどし」も同じ）。今年もうるう年となり、2月が29日まであります。4年に1度、1日多い令和6（2024）年を良い1年にしていきましょう。



今年もよろしくお祈いします！

～本校・センター院内学級～

12月は『100万人のクラシックライブ』にオンラインで参加し、ヴァイオリンとピアノのハーモニーを味わったり、演奏家と交流したりして楽しみました。



クリスマス

～福浦院内学級～

図工・美術の時間に飾りたいものをたくさん作って、クリスマスツリーを完成させました。また、いつもお世話になっている主治医と担当の看護師さんには、ポップアップのクリスマスカードを作成しました。12月21日には冬のお楽しみ会もあり、楽しいひとときを過ごすことができました。



全校行事

12月4日にはまぎんこども宇宙科学館出前授業教室、15日に100万人クラシックライブがありました。

25日の全校朝会では、ろう特別支援学校の栄養教諭の奥貫先生より、年末年始の行事食についてお話を聞きました。その後、寄贈図書の贈呈式を行いました。わらべやさんより本を寄贈していただきました。



1月の予定

9日(火) 全校朝会

22日(月) アーティストが学校へ(伝統芸能)

23日(火) アーティストが学校へ(伝統芸能)

その他の予定は、各院内学級よりお知らせします



作品紹介

～訪問指導学級～

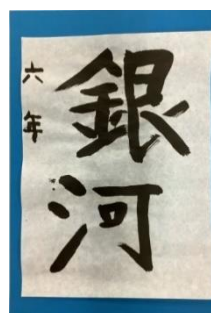
学習活動で作った作品を紹介します。



紙コップのけん玉を作りました。作り方を説明する文章も書きました。



ディメトロドン(肉食性爬虫類)を折り紙で作りました。



毛筆で「銀河」を書きました。右上払いを意識しながら、何度も練習しました。